

平成26年度第6回 鹿島区地域協議会 会議録

<地域協議会の日時・場所>

1 日 時：平成26年11月28日（金）
午後1時30分～午後3時45分

2 場 所：鹿島区役所2階 大会議室

【 会 議 録 】

1 開 会

○事務局

地域協議会成立要件の確認

委員数15名

【出席委員名】10名

五賀和雄、松野豊喜、大塚悦子、鈴木直門、星ちづ子
西 達也、齊藤延広、菅野行雄、早川孝雄、前田典郎

【欠席委員名】 5名

折笠寛昭、西 道典、森 和浩、遠藤宗司、渡部裕幸

委員の過半数が出席していることにより、本会議が成立していることを確認。

2 会長あいさつ

3 区役所長あいさつ

4 会議録署名人の指名

五賀会長が会議録署名人に菅野行雄副会長と早川孝雄委員を指名しました。

5 議事

(1) 報告事項

①パブリックコメントの実施について

○五賀会長

それでは議事に入ります。

報告事項①パブリックコメントの実施について担当より説明を求めます。

○男女共同こども課長

(資料により説明)

○五賀会長

説明が終わりました。質問等ございますか。

○早川委員

ニーズ調査の結果、約6割の方が子育てしやすい環境にはないという回答でしたが、審議会等ではこの点についてどのように検討されたかお伺いいたします。

○男女共同こども課長

審議会の委員にはPTAの代表の方、幼稚園・保育園の保護者や先生などが入っております。

これまで6回ほど子ども・子育て審議会を開催し、①小児科医療の問題、②働きながら子育てしやすい環境、仕事と家庭の調和、③認定こども園の促進という3点について重点的に話し合いをしてきました。

小児科医療については健康づくり課が中心に対応しており、現状としてはかなり厳しい状況ではありますが、市として、小児科医を確保するために努力をしていくということで審議会の委員の皆様にはご理解をいただいたところでもあります。

また、仕事と家庭の調和につきましても、企業等の代表となっている委員から、企業側としても育児休業をとらせてあげたいが、かわりとなる人がいないため、さまざまな制度があっても非常に苦しい状況があるというようなご意見も出されました。

市としましては、例えば遊び場の整備やファミリーサポートセンターの拡充など、できるところから一つずつ子育て世帯の支援等に努めていきたいと考えております。

○早川委員

除染をしても最終処分場や中間貯蔵施設での除染廃棄物の処理が終わらな

ければ、この計画が実行できないように思いますが、それに対してはどのような考えも持っていますか。

○男女共同こども課長

大変申し訳ないのですが、除染関係については除染対策課で、復興については企画課で計画をたてておりまして、その状況を見ながら、子育て環境を考えていかなければならないと考えております。

○菅野副会長

山形では地域ぐるみで子育てをしています。空き家等を利用してボランティアや高齢者の方々が子どもを見るなど、さまざまなパターンができないものかと考えます。

それから出産祝い事業を第2子以降にも拡大するとか、移住をしてくる子どもたちに補助金を支給するなどしてはどうでしょうか。

子どもがいないということは若い方がいない、つまり働く方がいないということになり、街そのものが厳しくなってくるので、いかにして子どもを増やしていくか、思い切った政策を行っていくことが必要です。

ただ一行政だけでは、なかなか難しいという感じがしますので、国・県合わせた形の中で取り組んでいくよう要望します。

○男女共同こども課子育て支援係長

高齢者に子育てを担っていただくという部分につきましては、三世代交流会という事業として健康づくり課で取り組んでおります。

○男女共同こども課長

出産祝い事業につきましても来年度からの事業ということで、来年度の当初予算に要求するよう検討しております。

魅力ある政策については、帰還・移住者を期待しながら事業を展開していきたいと考えております。

また、ご意見いただきました国や県ともあわせた対策については今後検討していきたいと考えております。

○前田委員

以前遊び場の整備で議論しましたが、その後の進捗状況はどうなりましたか。

○男女共同こども課子育て支援係長

千倉に建設ということで、小学校のPTA、幼稚園の保護者の方と今後協議し、進めていきたいと考えています。

○鈴木委員

乳児家庭全戸訪問事業ですが、27年度から31年度にかけて見込み量で、30年度だけ減少しているのは何か理由があるのですか。

○男女共同こども課子育て支援係長

特段理由があるものではなく、人口想定に基づいて試算した数字をベースとしております。

○五賀会長

事業計画⑪幼保一元化の問題ですが、事業内容は民間の幼稚園保育園に対して幼保一元化を進めるという理解です。かつて鹿島でも、上真野幼稚園と保育園で一元化という計画がありましたが、合併と同時に消えてしまった状態です。幼保一元化が民間でなければできない理由があるのですか。その点はどのような理解をしながら進めようとしているのかお尋ねします。

○幼児教育課長

合併前に、上真野地区には、近い距離に幼稚園と保育園があることや、かみまの保育園が老朽化していることから、幼児教育振興計画の中で、幼保一元化を検討した経過がございます。

当時、市において保育園の民営化が論議され、いずれ民間保育園に委託したいと考えていた最中に、東日本大震災を迎え、震災でたち消えになり、今の幼稚園・保育園の現状となっております。

幼保一元化は決して民間でしかできないというわけではありませんが、来年の4月からは、民間の1幼稚園でスタートする準備を進めております。

国の補助金が不確定なので、そのほかの私立幼稚園・保育園や公立については平成27年4月から開始する計画はございません。

○五賀会長

鹿島には民間の幼稚園も保育園もありません。ただ議論された時点では、幼保一元化を望む多数の声がありました。

民間を対象にするということは、要望があつたにもかかわらず、鹿島は遅れてしまう状況になりますが、その点についての心配はございませんか。

○幼児教育課長

民間のみを対象にするということだけでなく、公立でも検討しておりますが、27年4月からの幼保一元化の計画はありません。

○五賀会長

鹿島にはそういう要望があつたということも理解していただいて検討していただきたいと要望します。

○大塚委員

新しい事業がたくさん挙げられていますが、若い人が少なくて人員を探すのも大変な時代に、スタッフの確保は可能なんでしょうか。

○男女共同こども課長

これは男女共同こども課、健康づくり課、幼児教育課、文化スポーツ課、

図書館、学校教育課など全庁的に子育てに取り組んでいる事業をまとめたものなので、ある程度現状の体制で実施できると考えております。

○前田委員

確認ですが消費税増税が先送りになったことで、事業計画⑨、⑩、⑪の事業も先送りになることはありますか。

○男女共同こども課長

来年度から始まる子ども・子育て新制度は消費税の増税を財源として見込んでいました。

消費税増税が先送りされたことで国債発行という形になるようですが、子ども・子育て支援制度は国でも重要な問題だということですので先送りすることなく事業を行うと聞いております。

○五賀会長

ほかに質問等なければ、この件については終了とします。

②平成 26 年度 12 月補正予算について

○五賀会長

それでは②平成 26 年度 12 月補正予算について担当より説明を求めます。

○地域振興課長

(資料により説明)

○五賀会長

説明が終わりました。

質問等ありましたらお受けします。

○前田委員

鹿島厚生病院についての説明がありましたが、経営が黒字になったとあまり聞きません。市から経営についての意見等をするのではないのですか。

それから市立総合病院の経営はどうなんでしょうか。

○地域振興課長

公立病院は、ほとんどの自治体で赤字経営であると聞いております。

南相馬市立総合病院についても同様です。鹿島厚生病院は東京電力からの賠償金等の関係で平成 23・24 年度は黒字経営でしたが、それ以外についてはすべて赤字経営です。

ただ、公的病院でありますので、人口密集していない不採算地区に所在する病院であっても地域医療に寄与いただいております。

鹿島厚生病院についても、日々努力をいたしておりますが、根本的な解決策はまず医師確保だと思います。

また、市長及び鹿島区の市議会議員が鹿島厚生病院運営委員会委員となっ

ております。

○前田委員

関連ですが 30 k m圏内外で医療費の負担割合が違うようですが、30 k m圏内の医療費免除はいつまで続くのでしょうか。

○地域振興課長

来年の2月までは 30 k m圏内の方の医療費は無料となっております。それ以降については不明です。

○菅野副会長

禧原の通行止めの解除をぜひお願いしたいです。

○区役所長

国有林ということで遅れておりましたが、来年度中に復旧工事が完成するということです。

○鈴木委員

真野小学校は、比較的新しい部分と古い部分の二つに分かれています、全部解体するのですか。

○地域振興課長

環境省の災害廃棄物処理事業の査定の結果、校舎全体をこの補助金で解体可能ということになりましたので、今回、予算を計上しました。

○五賀会長

真野小学校のプールは解体するのですか。

○地域振興課長

補助金を受けて建設しましたので、その返還がなくなる平成 30 年に解体することを考えています。

○五賀会長

先日真野小校舎内で火災が発生したという情報がありましたが、具体的に把握しているのですか。

○区役所長

ボヤ騒ぎがあり、現在は消防団 1 分団 2 分団に夜の見回りを強化してもらっています。

○五賀会長

解体するまでに火災が発生した場合、大火災となる可能性があります。そういう恐れがあったということですから、十分注意していただきたい。
ほかに質問等なければこの件についてはこれで終了したいと思います。

(休憩)

③防災集団移転等に伴う行政区の分割について（南相馬市行政嘱託員設置に関する条例の一部改正）

○五賀会長

報告事項③防災集団移転等に伴う行政区の分割について担当より説明を求めます。

○地域振興課長

（資料により説明）

○五賀会長

説明が終わりました。

質問等ありますか。

○前田委員

これは、人口や世帯数が増えたために分割するのですか。

逆に、震災で人口が減った地区は将来統廃合の考えはあるのですか。

○地域振興課長

基本的に地元行政区の意向を十分に踏まえて進めていくことが大原則です。寺内行政区は、震災後に防災集団移転や災害公営住宅建設、三里団地の分譲完了により大きな行政区になったため分割となります。

被災された行政区については、避難や移転の状況を見ながら、時期を見て、地元の意向を十分踏まえた中で、再編を検討しなければならないと考えています。

○五賀会長

ほかに質疑等なければ、報告のとおりということによろしいですか。

○委員

「異議なし」の声

④公の施設に係る指定管理者の指定について

○五賀会長

次に④公の施設に係る指定管理者の指定について担当より説明を求めます。

○地域振興課長

（資料により説明）

○五賀会長

説明が終わりました。

質問等ありますか。

○前田委員

各施設ごとにどのくらいの応募があったのですか。

○地域振興課長

かしま交流センターについては最終的な応募は2団体、それ以外の施設については1団体のみでありました。

○五賀会長

ほかに質問等なければこの件については終了します。

⑤南相馬市地域福祉計画策定懇談会委員の推薦について

○五賀会長

次に⑤南相馬市地域福祉計画策定懇談会委員の推薦について担当より説明を求めます。

○地域振興課長

南相馬市では現在地域福祉計画の見直し作業を進めており、南相馬市地域福祉計画策定懇談会を開催し広く意見をお伺いしたいということで、11月1日付けで南相馬市健康福祉部長から地域協議会に委員の推薦依頼がありました。

この推薦に当たり、会長と相談の結果、菅野副会長を適任として今回推薦をすることになったものであります。

○委員

「異議なし」の声

(2) 協議事項

①津波被災者の下水道受益者負担金について

○五賀会長

次に協議事項①津波被災者の下水道受益者負担金について担当より説明を求めます。

○地域振興課長

(これまでの経緯を説明)

○五賀会長

このことについては、個人としては二重支払の部分があったということで松野委員からの提案もあり、前回の会議の中でも、市に要望するということで、皆さんのご賛同をいただきました。これは実行に移したいと思います。

要望書の内容については松野委員、菅野副会長とともに、事務局と精査をしたいと考えていますので、よろしくをお願いします。

このことについて何か皆さんからご質問等ありますか。

○前田委員

3人に一任したので要望通りになるように期待します。

○五賀会長

要望する場合は、できるだけ皆様のご出席をいただきながら要望書ができ次第、提出したいと思いますのでよろしくお願いします。

(3) その他

①次回地域協議会の日程について

○五賀会長

次に、その他①次回の日程について説明を求めます。

○地域振興課長

今回は事務局としましては1月21日(水)午後1時30分からと考えております。

○五賀会長

1月21日(水)午後1時30分よろしいですか。

○委員

「異議なし」の声

○五賀会長

その他何かありますか。

なければこれをもちまして本日の議題はすべて終了いたします。

長時間ご苦勞様でした。

6 閉 会

以上のとおり相違ありません。

会

長

五賀和雄

会議録署名人

菅野行雄

会議録署名人

早川新雄